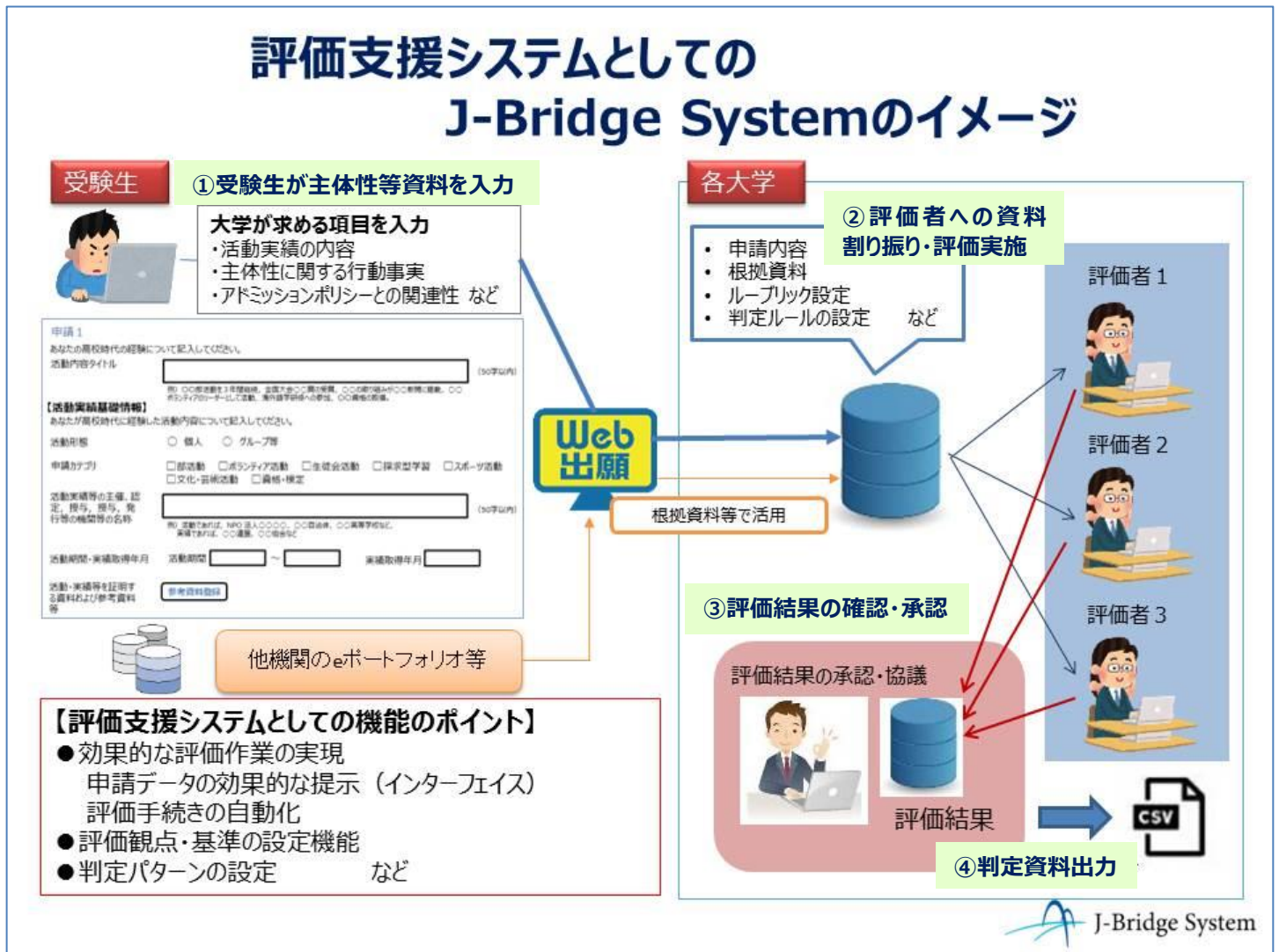


## ■ Web を活用した主体性・協働性評価のイメージ（「J-Bridge System」を例に）

\* 受験生が提出する主体性・協働性を示すデータを、各大学がそれぞれのニーズに最適な形で評価することを支援する仕組みは、J-Bridge System が初めてとなります。



### 【評価の流れ】

- ① あらかじめ大学側が登録した主体性等評価に関する設問に沿って、受験生が自らの主体性等をアピールする資料（活動実績やアドミッション・ポリシーに関連する質問への回答など）をWeb出願時に入力・提出します。
- ② 提出された主体性等に関する資料を、学部教員やアドミッションセンターのスタッフなど実際に評価を行う評価者に割り振りし、評価を実施します。
- ③ 各評価者が行った評価を確認し、必要に応じて評価レベルの修正を行ったうえで、承認（評価の確定）を行います。
- ④ 確定された評価データをダウンロードし、合否判定資料として出力します。

★ 高校生の日々の活動記録や活動実績を記録・蓄積する eポートフォリオ<sup>\*</sup>との連携も将来的な視野に入っています。  
<sup>\*</sup>「まなBOX ((株)NSD)」「JAPAN e-Portfolio ((一社)教育情報管理機構)」など。

**[J-Bridge system について個別のご取材も承っております。お気軽に河合塾グループ広報担当までお問い合わせください。TEL 03-6811-5508 mail: [press@kawaijuku.jp](mailto:press@kawaijuku.jp) ]**